

J R 東海の新幹線脱線対策に対する取り組みについて

J R 東海が取り組んでいる新幹線脱線対策は以下の通りです。

(1) 脱線・逸脱防止対策の検討状況

地上側の対策として脱線防止ガードを設置し、脱線を極力防止するとともに、脱線した場合に車両の逸脱を防止するため、車両に逸脱防止ストッパを設置するものです。

脱線防止ガードについては、10 月下旬に速度の低い箇所に敷設し保守作業への影響等に対する検討を行います。また、逸脱防止ストッパについては、試験的に N700 系 1 台車に取り付け、振動が発生しないことなどを確認します。

【脱線防止ガード】



敷設状況



保守作業時の転換状況

【逸脱防止ストッパ】



台車設置状況



ストッパ形状

(2) 地震時における非常ブレーキ距離短縮

ブレーキシステムの基本的な見直しにより、阪神淡路以降の新形式車両において非常ブレーキ距離の短縮を図ってきました。今後 N700 系の投入により非常ブレーキ距離短縮を図ります。